



それぞれの人形の個性を表現できるように考えながら、小松姫物語の稽古に励む座員の皆さん
 写真下) 左から堤優衣さん、石井愛衣里さん、高野智花さん 上) 左から堤琉翔さん、高野光太朗さん、堀越すずはさん

小松姫の豊かな人間性を表現 家族のような座員 仲良く稽古

沼田城主の真田信之の夫人・小松姫の生き様を描いた「小松姫物語」は座のオリジナル作。敵となった小松姫の義父から沼田城を守るため、侵入を阻止するシーンには小松姫の気丈さが現れています。一方、義父の思いをくみ、隠れて孫に会わせる場面では、優しい心を持つ小松姫を描いています。座長の金井竹徳さんは「あらゆる場面での小松姫の心を感じて動かせるかが重要」と力を込めます。

歳の差関係なく、遠慮なく入っていけるところが同座の1番の良さ。稽古以外にも公演を観に行ったりと交流が多く、大人は若い座員をかわいがり、子どもは慕うという家族のような関係が心地良く感じるそう。座員の絆が生み出した人形芝居の伝承に、これからの期待が高まります。



写真上) 久しぶりの孫たちに会い、小躍りする義父・真田昌幸を演じる高野さん
 下) 沼田城の石垣をイメージした舞台上、小松姫が城を攻める昌幸を阻止する場面

◆ 沼須人形芝居あけぼの座 秋の公演各種 ◆

〈沼田市文化祭〉

とき 11月5日(土) 午前10時
 ところ テラス沼田1階防災広場

〈伝統芸能発表会〉

とき 11月20日(日) 午後1時30分
 ところ 利根沼田文化会館大ホール

〈沼田市文化遺産の祭典〉

とき 11月12日(土) 午前10時
 ところ 材木町神明会館



稽古や座員などを
 インスタグラムで紹介
 AKEBONO_NUMASU